



Title	沖縄関係 日米沖縄返還協定/VOA存続問題(01) VOA 使用周波数の変更 外務省外交史料館レファレンス番号: H222354)
Author(s)	-
Citation	平成22年度外交記録公開(4)No.1 公開日:平成23年2月18 日 外務省外交史料館管理番号:2011-0005 CD・DVD番 号:H22-014
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43649
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

(01)
✓
OA 使用周波数の変更

C
O

C
O

2205 (23)

条約課長 207

法規課長 207

安全保障課長

アメリカ局長

参事官

北米第一課長

VOA (有線電報) 資料 1-7112

46.7.12.

米. 北一.

7月12日在京米大使館 2205 参事官より

在沖繩VOAの運用に関する有線電報

の案を以て資料を入手し、別添
のとおり所考を記す。

(別添各電報並に同法務課より
送付す。

2205
2205
2205
2205

7A 120 7/23/75 (7/23/75) 89

SUBJECT: Communication Circuits - Military Circuits Used by VOA

A. Through Kadena Telephone Exchange

1. Three lines from VOA, VHF communication facilities to Kadena Exchange. Pairs 833 and 834 for Okuma Xmtr Plant and pair 835 for Onna Receiver Plant.
2. Two pairs for full duplex teletype circuit for DCA circuits (N-275). This is a full-time circuit with our Washington Office.

B. Through Sukiran Telephone Exchange using cable C-234

1. Onna Receiver Plant to Sukiran Telephone Exchange Pair 23 - Sukiran 118.
2. Onna to Sukiran Telephone Exchange pair 72 - Sukiran 122 - This circuit is connected to Okuma Rest Center over VOA, VHF equipment between Onna and Okuma.
3. Onna to FEBC Radio Station. Pair 76 - We feed them VOA Breakfast show news.
4. Onna to Military installation pair 74 for program and IPS File.

C. Telephone Circuit from Onna VOA Receiver Plant to Marine Facilities Onna Point. Direct line used for emergencies, fire and first-aid.

- 2 -

D. In the Okuma Area - The following Telephone Circuits:

1. VOA switchboard to Okuma Officer's Rest Center switchboard.
2. General Lampert's Quarters to VOA switchboard.
3. From Rest Center switchboard to VHF facilities, by-passing VOA switchboard.
4. VOA switchboard to FEBC quarters.

E. Others

1. Homes and office on Kadena have phones from Kadena Air Base Exchange.
2. Military presently installing microwave telephone circuits for Rest Center that will be housed in VOA Transmitter Building. VOA may obtain telephone circuits from this service.

ORS:ELDavis:bv

秘
無期限

アメリカ局長
条約課長 参事官
法規課長 北米第一課長

沖繩VOA中継局の使用する周波数の変更
について(在京米大シミツの連絡越した
真実旨メモ)

46.8.9
条規鈴木

1. 沖繩VOA中継局が現在連絡用(communication)
に使用している電波のうち 157.0 MC 及び 158.5 MC については、
それぞれ 沿岸航行中の船舶の陸上との交信用 及び 漁船の通信用
に指定されているため、復帰後 これらの電波の使用を認めることは
できない。この点は、沖繩返還協定交渉の際、郵政省の指摘に
基づき、わが方としても米側に申し入れ済みであり、6月14日付 Talking
Paper 2(ii) においても確認されている。(6月3日のシミツ・栗山

郵政省との協議中なるも取り敢えず。

会談の際に、シミツは、かねて米側に申し入れておいた本件の周波
数につき、本国政府に照会した結果として、USG has no objection
to changing them but appropriate replacement is needed
と述べた。よって、同日、条規鈴木より、電波監理局法規課山口補佐
に右米側感觸を伝えたところ、同補佐より、代替波を与えることには
異議ないが、米側の希望して来たものをそのまま与える得るが否かは
わからない旨回答越した旨(聖緯がある。)

2. 在京米大シミツ法務官は、以上の聖緯を背景として、
8月9日、次の条件の下で代替波を電波 沖繩VOA中継局に
認められた旨、条規鈴木に電話連絡越した。

(1) 代替波電波は、いずれも 163.0375 MC ~ 170.000 MC の

VOA使用の周波数について

1. 交換公文により VOA使用の周波数については、日本側の承認を得て使用できるとなっている。
2. 1尺から、5月15日から使用する放送用、連絡用、無線テレビ用すべての周波数について、米側は、お届り1尺付表を理めて承認を求めてくる必要がある。
3. 日本側は、この米側の承認要求を検討して、支障なければ承認することになる。
4. 以上の手続の指針として昨年調印時に米側と若干の意見交換を行なっている。(Talking Paper) の項(秘)
5. これによると、5月15日からの使用周波数についての承認にあたっては、現在使用中のものも尊重することになっているが、日本側は、Communication用の157.0MC及び158.5MCについては承認できないことになっている。
6. 1尺から、米側は5月15日から使用する全周波数について日本側に承認申請すべきところ、特に代替波の必要を上記の波については決定に時間を要すると予想される。

7. ついては、日本側から上記代替波を下記のとおりに提案するので、米側で検討のうえ、他のすべての使用予定周波数とともに回答させる必要がある。(お届り1尺付表を理めさせることになる)

現在使用波	→	代替
158.5 MC	→	166.5 MC
157.0 MC	→	167.8 MC

なお、この代替波は昨年北米一帯より連絡のため鈴木メモの米側要求の条件を満足させるものである。